



新年のごあいさつ

栃木市長 鈴木俊美

平成30年の新春にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は、多くの皆様のお力添えにより、実り多き一年となりましたことを、厚く御礼申し上げます。皆様にとりまして、この新しい年が喜びに満ちた年となりますよう、心からお祈りいたします。

振り返れば、昨年は、本市の移住・定住施策における、非常に明るい知らせが始まった年でした。田舎暮らしを専門とした雑誌の「住みたい田舎ベストランキング」の「若者世代部門」「子育て世代部門」の2部門での全国1位獲得、というこのニュースにより、「あつたか住まいるバンク」や「蔵の街やどかりの家」などに代表される本市の移住・定住施策が、全国的にも非常に注目を集めた1年となりました。実際に、人口の社会増減で見ると、昨年度は栃木市に転入した人数が、栃木市から転出した人数よりも、476人上回っています。これは、平成24年度から5年連続の傾向であり、市の移住・定住施策が功を奏していることの何よりの表れであると思えます。

また、定住人口の増加のために不可欠な、雇用の創出・産業の振興の面においては、これまで整備を行ってきた「千塚産業団地」の本格分譲を、7月より開始しました。現在、既に7社と土地売買契約を締結し、分譲率は約60%、商談中で分譲を希望している企業を含めると、分譲率は約80%となります。今後も完全売向け、積極的な企業誘致活動を行ってまいります。

農業分野においても、昨年の3月には「栃木市農業ビジョン」を策定しました。これは、今後10年間の本市の農業のあるべき姿や方向性を示したもので、今後とも農業者や関係機関・団体の皆さんと共に、10年後の「農業大市」の実現を目指してまいります。

さらに、昨年は初めて、実際の子育て世代から直接、生の声を伺う「子育て世代ふれあいトーク」を、6月と12月の2回行いました。ここで皆さんにお伺いした貴重なご意見を参考としながら、「子育て世代部門」1位となった本市の子育て施策を、なお一層充実させてまいります。

さて、新年も、市の更なる発展のために、様々な施策を進めてまいります。全てをご紹介したいところではあります。紙面の都合上、代表的なものを3つご紹介したいと思います。

まず、旧市役所本庁舎跡地や旧栃木中央小跡地を活用した「地方都市リノベーション事業」です。この事業として、4月には「くらのまち保育園」が開園するほか、皆さんが生涯学習活動などにご利用いただける施設として、旧栃木中央小校舎を活用する「(仮称)地域交流センター」について、再来年4月の開館を目指して改修工事を始めます。

また、この事業の核となる「(仮称)文化芸術館」や、国の登録有形文化財である旧市役所別館のレトロな雰囲気を生かした「(仮称)文学館」についても、本格的な設計業務を開始します。市の中心市街地の新たな拠点として、魅力や賑わいを創り出していきます。

また、先ほど述べました子育て施策の充実の一環として、現在計画を進めております「子どもの遊び場」としての大型の屋内型の遊戯施設についても、平成32年度のオープンに向け、いよいよ本年に実施設計の作業に入ります。子どもの成長過程で楽しめる、多種多様な遊具を備えると共に、市街地活性化や世代間交流も図れる施設を目指してまいります。

さらに、本年は2年に1度の栃木市最大のまつり「とちぎ秋まつり」の年です。今回は、11月9日から3日間の日程で開催を予定しております。今春がメインの年となります大型観光キャンペーン「デザインেশョンキャンペーン」と合わせ、本年もより多くの皆様に栃木市を訪れていただくことで、市の定住人口のみならず、交流人口の増加によるまちの賑わい創出も、積極的に行ってまいります。

早いもので、本年は合併9年目、来年は10年目の節目となります。これまでの新しい「まちづくり」はおおむね順調に進んできております。まちの中の景色や雰囲気も、少しは変わってきたのではないのでしょうか？

これまでの新しいまちづくりの段階が「ホップ」「ステップ」であったとすれば、本年以降はいよいよ「ジャンプ」の段階に入ります。新しいまちの完成を目指し、本年も市民の皆様と共に手を携えて、歩いていきたいと思います！

※「市長通信」は休みます。

平成29年秋の叙勲・褒章および危険業務従事者叙勲受章おめでとうございませう

本市から次の方々を受章されました。市民の皆さんとともに、心からお祝い申し上げます。

平成29年秋の叙勲



旭日双光章 生活衛生功労 飯沼 友吉 氏 (旭町)



瑞宝重光章 検察官功労 栃木 庄太郎 氏 (大塚町)



瑞宝双光章 鉄道業務功労 小林 重夫 氏 (大平町伯仲)



瑞宝双光章 更生保護功労 関口 尚 氏 (大皆川町)



瑞宝単光章 鉄道業務功労 白井 優 氏 (吹上町)



瑞宝単光章 消防功労 大塚 政和 氏 (室町)



黄綬褒章 業務精勵 (機械検査工卓越技能) 坂本 幸一 氏 (岩舟町下津原)



第29回 危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章 消防功労 日向野 猛 氏 (宮町)



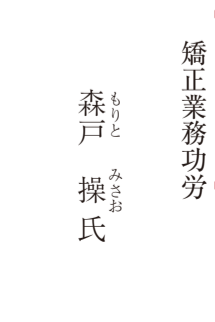
瑞宝単光章 警察功労 小堀 隆 氏 (大宮町)



瑞宝単光章 消防功労 鈴木 昇 氏 (箱森町)



瑞宝単光章 矯正業務功労 橋本 義裕 氏 (都賀町平川)



瑞宝単光章 警察功労 森戸 操 氏

市政功労者・徳行者 市民栄誉賞表彰

11月22日、市役所正庁で平成29年度市政功労者・徳行者・市民栄誉賞の表彰が行われ、各分野で活躍されている方々の功績をたたえ、表彰状等を贈りました。表彰を受けられた方は次のとおりです。(敬称略)

◎市政功労者
・教育委員
荒川 律
林 慶仁

・学校医 高橋 洋
・少年補導員 大橋 登美子
川上 正
・消防団員 久保 正幸
小林 恒雄
白沢 文男
田波 芳孝
舟橋 建司
松本 弘明
森戸 秀雄

◎徳行者
・社会貢献活動 五家 英子
・寄附 大塚 サト子
熊倉 猛
「吾」からくり時計設置実行委員会
越川 篤子
五月女 博勇
鈴木 解子
鈴木 杏子
内藤 實
内藤 敏子
中村 和男

◎市民栄誉賞
・デフリンピック夏季大会バレーボール女子優勝 宇賀耶 早紀
・全国高等学校囲碁選抜大会女子団体優勝 栃木県立栃木女子高等学校囲碁チーム
問合先 秘書課 ☎(21)2311

※写真はご本人様の了承を得た方のみ掲載しています。